

# 交流を深めながら ボランティア

名古屋経済大学(犬山市内久保)の学生有志でつくる、ボランティアサークル。約15人が登録し、学内のみならず依頼に応じて大学近郊の犬山市や小牧市の行事などにも、可能な限り協力しています。



「地域との交流を大切に活動したい」と話す久川さん

などに協力。「やどかり塾」では肝試しや餅つきなど、子どもたちの指導をしながら交流を深め、「絆フォーラム」では東北支援コーナーを受け持つなど、できる事ならどんな依頼にでも協力するなど多様な活動をしています。

活動を通じてつながるのは、学内の友達だけでなく、地域の多くの人たち。「大学があるまちと関わることで、学生である

自分たちが社会的にもつながっていきけるのでは」との思いがこもっています。

学内の活動として力を入れるのは、震災部門。学園祭では東北支援の物販や、東北の食材で作った鍋を作るなどして支援に当て、被災地に出向いて瓦礫の片付けや畑の整備、仮設住宅で交流をした仲間もいます。

「東北支援の活動は、どのエリアからの依頼でもできる限り協力していきたい」と、中心的メンバーの佐藤健太郎さん(3年)は話し、震災部門ができたのを機会に登録し、積極的に活動する久川悠太さん(同)も「自分たちでイベント等を発案し、地域の人たちと一緒に活動する中で、地域との交流も続けていきたい」と語ります。

\* \* \*

産学官連携が求められる中、地域を大切に作る気持ち強く、大学の方針にも一致する活動。課題は人材確保と育成で、メンバーの増員に力を入れ、組織づくりもしていきたいと考えています。「学業と就職活動との三両立を目指し、近い将来にはクラブに昇格したい」と、活動に力が入ります。



震災部門を立ち上げた  
佐藤さん